



ECサイトは決済で差をつける！

＼ 今知っておきたい ／

決済トレンドとおすすめサービス



Catch Ball

株式会社キャッチボール



目次

Chapter1 ECサイトで決済サービスが重要な理由

- ✓ 選択肢を増やすことでCVRが上がる
- ✓ 信頼できるサービスの導入がユーザーに安心感を与える

Chapter2 ECサイトにおける決済サービスの実情

Chapter3 ECサイトで利用できる主要な7つの決済サービス

- ✓ クレジットカード決済
- ✓ コード決済
- ✓ コンビニ決済
- ✓ キャリア決済
- ✓ 銀行振込
- ✓ 代金引換
- ✓ 後払い決済

Chapter4 ECサイトに導入する決済サービスを選ぶ際の4つのポイント

- ✓ ユーザーの属性・ニーズ
- ✓ 商品サービスの価格帯
- ✓ 導入・運用コスト
- ✓ セキュリティ

Chapter5 決済サービス「届いてから払い」とは

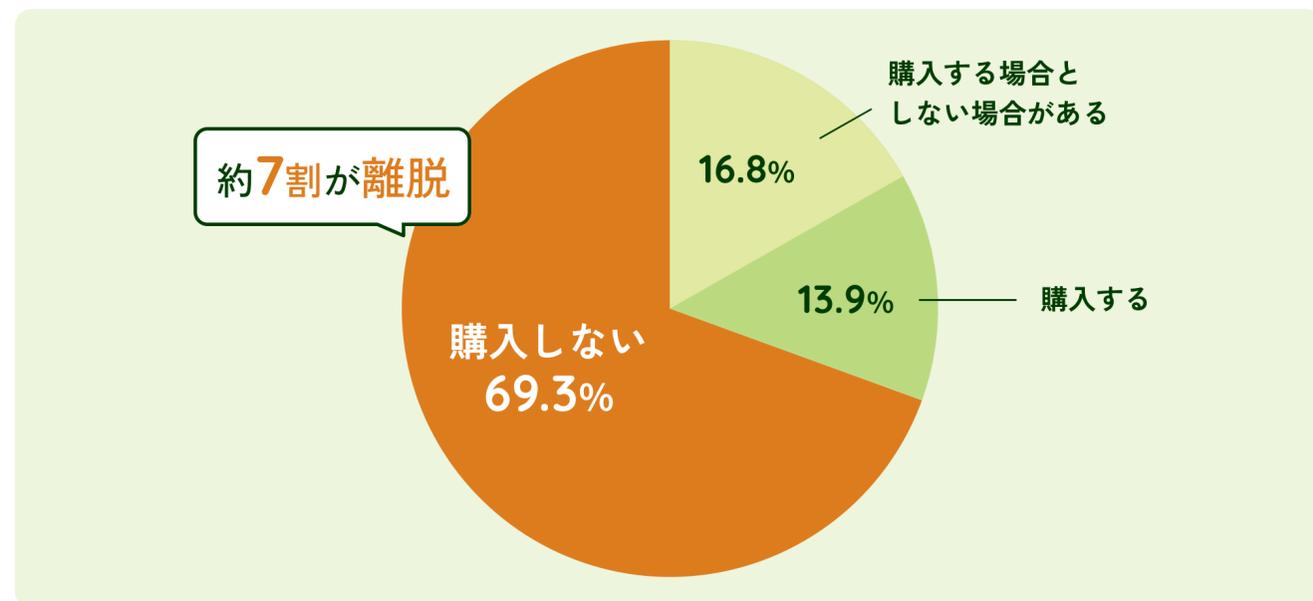
- ✓ 購入者様の利用フロー
- ✓ 「届いてから払い」の3つの特徴

Chapter6 いつでも「安心便利な決済」を提供するキャッチボールのご紹介

Chapter1 | ECサイトで決済サービスが重要な理由

選択肢を増やすことでCVRが上がる

Q 初めて利用するネットショップに希望の支払い方法がなかったら？



※自社による調査

ユーザーは自分が利用しやすい決済手段を選びたいと考えている！

「クレジットカード決済」や「コード決済」など、多くの選択肢を提供することで幅広いユーザー層に対応することが可能です。

信頼できるサービスの導入がユーザーに安心感を与える

ユーザーはオンラインでの取引に対して、不正利用や情報漏洩などの不安を抱くことがある

オンラインでの取引におけるリスク

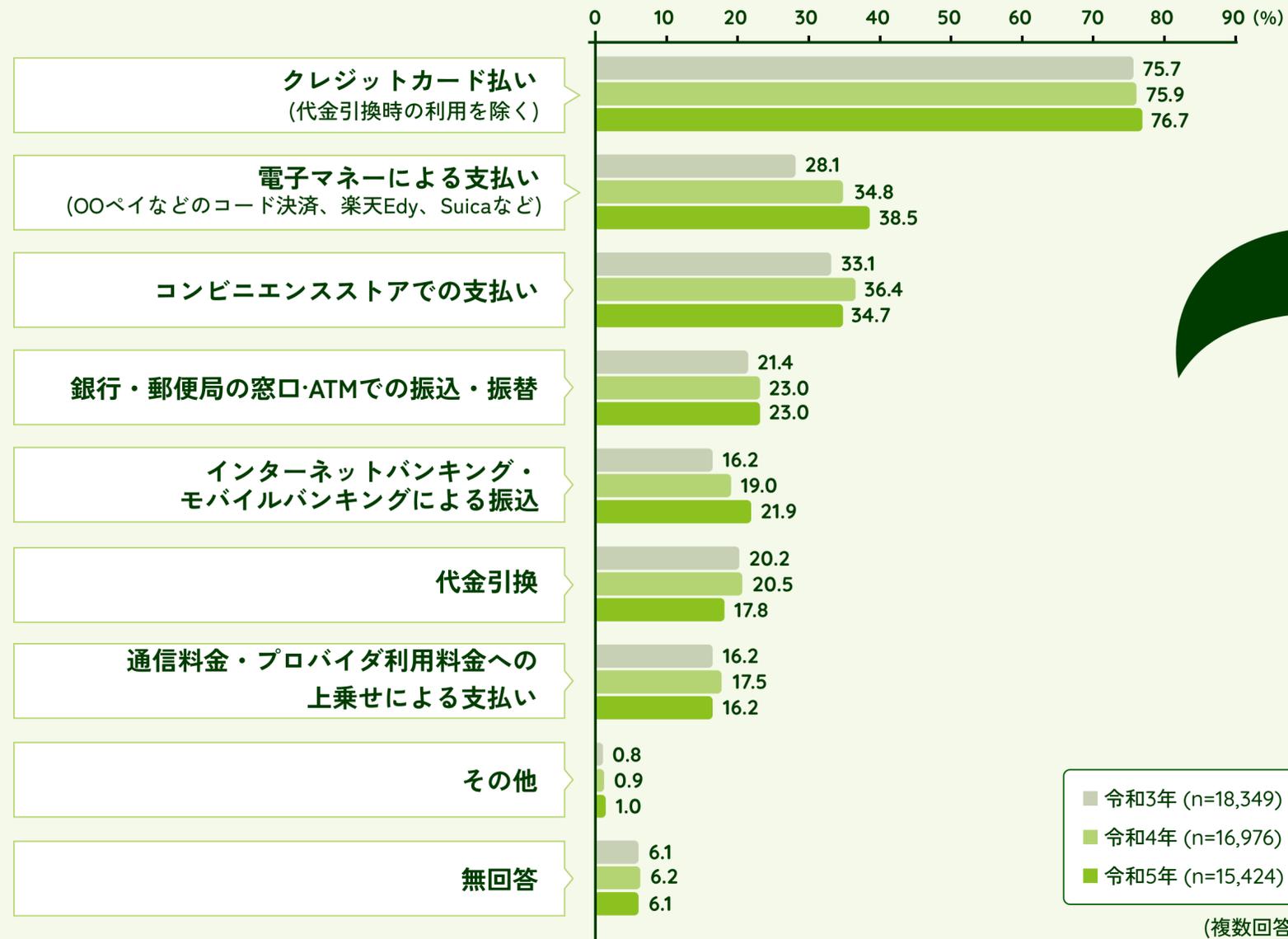


信頼できるサービスを導入することが重要！

とくに海外向けに商品を販売する越境ECを行う場合、現地での一般的な決済方法を調べておきましょう。物流や言語の問題をクリアしても、決済方法に馴染みがなければユーザーが購入してくれない可能性があります。

Chapter2 | ECサイトにおける決済サービスの実情

インターネットを使って商品を購入する際の決済手段(時系列)



引用元：総務省 情報流通行政局令和5年 通信利用動向調査報告書

インターネットで商品を購入した 15歳以上の人の決済方法

1位 クレジットカード払い ……76.7%

2位 電子マネー ……38.5%

⋮

7位の「キャリア決済」でも15%以上の利用率

ECサイトの運営者は
幅広い決済方法を
導入しておくことが重要！



Chapter3 | ECサイトで利用できる主要な7つの決済サービス

ECサイトにおける決済方法は多岐にわたり、それぞれに特徴やメリット・デメリットがあります。
ここでは、主要な7つの決済サービスを紹介します。

クレジットカード決済



最も一般的な決済方法で、多くの消費者が利用しています。経済産業省はクレジットカードの不正利用を防ぐため、2025年3月末までにすべてのECサイトに対して3Dセキュア2.0（決済時の本人認証サービス）の導入を義務付けています。

メリット

- 即時決済が可能で未回収リスクが低い
- 最も普及している方法なので顧客もスムーズに取引が行える
- 一度登録すると次回以降は簡単に決済できて利便性が高い

デメリット

- 比較的手数料が高いため運営コストには注意が必要
- 不正利用が発生する可能性がある

決済手数料

決済金額の3%前後が相場、商材によって変動する

コード決済



二次元コードを利用した簡便な決済方法で、代表的なサービスには「PayPay」や「楽天ペイ」などがあります。

メリット

- 手軽でありながらセキュリティが高い
- スマートフォンさえあれば利用できる
- クレジットカード情報などを入力する手間がかからない

デメリット

- スマートフォンがなければ利用できない

決済手数料

決済金額の1~3%が相場

コンビニ決済



商品購入後にコンビニエンスストアで代金を支払う方法で、日本では高い普及率を誇ります。同封された払込票をレジで提示して支払う方法と「オンライン発番式」という決済番号をオンライン上で発行し、コンビニにある端末に入力してレジで支払う方法があります。

メリット

- クレジットカードがなくても利用できる
- ユーザーの都合に合わせて支払いができる
- 金額ミスのトラブルが発生しにくい

デメリット

- ユーザーがコンビニに出向く必要があり支払い忘れや遅延のリスクがある

決済手数料

1回あたり120円~550円程度が相場

キャリア決済



携帯電話料金と合算して支払う方法です。

メリット

- 簡単な操作で決済できるため利用者のハードルが低い
- 携帯料金と一緒に支払われるので未払いリスクが低い
- 必要な情報入力が少なくカゴ落ち防止に役立つ

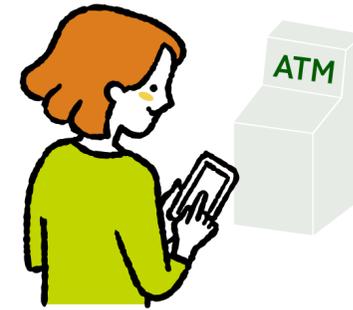
デメリット

- クレジットカードより決済手数料が高くなるケースが多い

決済手数料

決済金額の5～12%が相場

銀行振込



購入者が指定された銀行口座に代金を振り込む方法で、高額商品の購入時に利用されることが多いです。

メリット

- EC事業者の手数料負担がない
- ユーザー側に不正利用や情報漏洩のリスクが少ない

デメリット

- オンライン手続きができないユーザーは銀行に出向く必要がある

決済手数料

振り込み手数料を原則購入者が負担

代金引換



商品受け取り時に配送業者が代金を回収し、後日ECサイトに送金する方法です。

(大手ECサイトのAmazonでは、2024年6月6日より代金引換が利用できなくなっています)

メリット

- クレジットカードがなくても利用でき未回収リスクが低い
- ユーザー側の情報入力が必要なく不正利用リスクの心配も少ない

デメリット

- 商品到着時に現金を用意して在宅している必要がある

決済手数料

1回あたり300～600円が相場だが購入者が負担するケースが多い

後払い決済



商品を受け取ってから請求書にしたがって期日までに支払う方法です。

メリット

- ユーザーは商品確認後に支払いができるので安心感がある
- 決済会社が代金を立て替えるサービスもあるためEC事業者の未回収リスクを低減できる
- サービスを利用することで請求書発行などの業務負担が軽減できる

デメリット

- 支払い方法の選択肢が多いサービスでないとユーザーに負担がかかる

決済手数料

決済金額の2～5%が相場

Chapter4 | ECサイトに導入する決済サービスを選ぶ際の4つのポイント

ユーザーの属性・ニーズ

年齢や性別、地域などのユーザー属性を考慮し、適切な決済方法を選ぶことが重要です。

年齢



若年層にはキャリア決済、高齢者層には銀行振込が好まれる傾向がある

地域



都市部ではクレジットカード決済やコード決済が普及。地方ではコンビニ決済や銀行振込が好まれる傾向がある

商品サービスの価格帯

商品の価格帯によってセキュリティや手軽さなど、優先順位によって選ばれる決済サービスが変わります。

低価格帯 (～数千円)



- コード決済
- 電子マネー
- コンビニ決済 など

中価格帯 (数千～数万円)



- クレジットカード
- 銀行振込
- 後払い など

高価格帯 (数万円以上)



- クレジットカード
- 代金引換 など

導入・運用コスト

初期費用や月額費用、手数料などを考慮し、自社に最適なコストパフォーマンスを持つサービスを選定することが重要です。

導入コスト



- 初期設定費用
- システム連携費用
- セキュリティ対策費用 など

運用コスト



- サービス利用料
- 決済手数料
- セキュリティ維持費用 など

セキュリティ

自社サイトのセキュリティがしっかりしていても、決済サービスから情報漏えいすることがないように注意が必要です。

対策

ワンタイムパスワード
やセキュリティコード
の入力

本人認証サービスなどが
組み込まれた決済サービ
スの利用

Pマークの取得

国際セキュリティ企画
「PCI DSS」に準拠した
サービスの選択

Chapter5 | 決済サービス「届いてから払い」とは

決済サービス「届いてから払い」とは「ECサイトや通販で注文した商品が届いてから、お支払い方法を決める」ことができる新しい後払いサービスです。

購入者様の利用フロー

通販で商品購入

決済方法で「届いてから払い」を選択



商品が届く



請求書が届く

請求書を受け取ってから支払方法を選ぶ



支払い

キャッシュレスなら
その場でお支払い



現金なら

お店でお支払い



※ビジネスモデル特許出願中

「届いてから払い」の3つの特徴

1

豊富な決済手段が選べる



「届いてから払い」はコンビニ・郵便局・銀行・請求書のバーコード支払いに加えて、クレジットカード・PayPay・キャリア決済にも対応しています。ユーザーは自分の希望にあった支払い方法を選択できるため、**利便性が高まりカゴ落ち防止効果が期待できます。**

2

未回収リスクの保証



運営会社のキャッチボールが未払いリスクを保証しています。請求書発行から督促まで請求業務はすべてキャッチボールが行い、着荷を確認した商品代金は立替先払いします。導入事業者にとっては、**購入代金が100%立替保証されるため、未回収リスクを心配する必要がありません。**

3

業務の代行



与信審査・請求書発行・入金確認・代金回収・督促・お客様対応まで後払い決済に関するすべての業務をおまかせいただけます。

Chapter6 | いつでも「安心便利な決済」を提供するキャッチボールのご紹介

キャッチボールが選ばれる理由

休日も安心のサポート



カスタマーセンター・与信審査は土日祝日(年末年始除く)も稼働しています。自社運営のため柔軟な対応が可能です。貴社のお問い合わせ業務削減にも効果が期待できます。

キャンセル時の手数料無料



請求書発送後でもキャンセル分の請求手数料は発生いたしません。

上限金額なし



取扱い商材や販売方法、取引実績などを鑑み、柔軟に対応いたします。
※一部のサービスでは上限金額を設けております。

後払い業界で長きにわたり培ってきたノウハウを生かし、独自の強みで事業者さま、購入者さまのニーズにいち早くお応えいたします。



Catch Ball

株式会社キャッチボール

株式会社キャッチボール

〒140-0002

東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー12階

TEL 03-4326-3600

MAIL todoitekara@ato-barai.com

サービス資料請求(法人専用)

